

2019年度日本環境感染学会教育委員会主催 医療疫学トレーニングコース実施のお知らせ

本トレーニングコース全体の目的は、医療関連感染に関する疫学と集団発生（アウトブレイク）の原因調査に関する知識を備えた病院疫学者を育成することです。本年度も基礎編と集団発生調査編の2つのコースを実施いたします。ご参加を希望される場合、日本環境感染学会ホームページ上の「医療疫学トレーニングコース参加者募集のお知らせ」からお申し込みをお願いいたします。

【集団発生調査編】

目標 本トレーニングコース修了時点で、受講者は

1. 医療関連感染の集団発生調査に必要な医療疫学ならびに統計学の基本的知識を説明できる。
2. 集団発生の原因調査の手順に関する知識を説明できる。
3. シミュレーション演習を通し、集団発生調査のデータの解釈の仕方、原因探究の実際のプロセスを述べることができる。

注：本トレーニングコースは、集団発生の現場対応の実際を習得することを目的とはしていない。

開催日時ならびに会場

2019年11月16日・17日（土曜日・日曜日）

東京医科歯科大学（東京都文京区湯島1-5-45）

交通アクセス：JR・東京メトロ丸の内線 御茶ノ水駅より徒歩3分

募集人数 40名（なお、応募多数の場合の参加者については委員会に一任いただきます。応募資格や地域性等を考慮し調整させていただきます）。

募集時条件（以下の3つを満たしていること）

- ①日本環境感染学会の会員であること
- ②医療関連感染対策の分野における臨床での活動経験（3年程度）があること（どのような活動経験か、具体的にお書きください。例 ICT歴3年）
- ③基礎編でカバーする疫学・統計学に関する内容を概ね理解できていること

参加費 2万5千円（情報交換会会費込み）

タイムスケジュールおよび内容

第1日目（11月16日）

8：40～ 受付開始。

8：55～ オリエンテーション。

9：00～12：00 講義（1）疫学・統計学①：医療関連感染の集団発生時の原因調査に用いられる代表的な研究デザインである症例対照研究、後ろ向きコホート研究について文献例を用いて解説する。また、アウトブレイク調査のプロセス、既存の文献が示す「結果は真実なのか？」を判断するために必要な文献の読み方の基礎知識について説明する。

13：00～15：30 演習（1）Outbreak Investigation①：外科系病棟におけるセラチア菌血症の集団発生事例を取扱う。時、人、場所の情報などを整理し、疫学的アプローチによって事例の真相に迫る。興味深い結末が待っている。

15:50～17:00 講義（2）最近報告された医療関連感染の集団発生事例について、実際に対応された方をお呼びして講演していただく。

17:00～17:15 写真撮影

17:30～19:30 情報交換会 コースの講義・演習内容に関する質疑応答、医療疫学こぼれ話コーナーやクイズコーナーなどを設ける。受講者の医療疫学に関する理解をさらにサポートをする機会として活用していただきたい。

第2日目（11月17日）

9:00～10:00 演習（2）文献の批判的な読み方の実際：前日学習した疫学ならびに統計学の知識をもとに、既存の文献結果の真偽を評価するための文献の読み方の実際を受講者とともに展開していく。

10:10～11:30 講義（3）疫学・統計学②：統計学の基礎的知識の説明をふまえ、演習に使用した文献で用いられた統計学解析（単変量解析、多変量解析）について解説する。

12:30～16:15 演習（3）Outbreak Investigation②：*Clostridioides difficile* のアウトブレイクについて、小グループに分かれて講義・演習で学んだ知識を総動員させて検討し、集団発生の原因を探る。検討結果はグループ毎に発表し、参加者全員で検討する。微生物検査や抗菌薬の関連トピックスについても触れる。

16:15～16:20 総括、修了書授与。

16:25 解散。